

## <高強度シングルギャフ取扱い説明書>

型式：SG6190T

高強度ギャフ仕様：

型式：SG6190T

寸法（設計値）

全長19cm、幅13.1cm、線径6.5mm

フック部：長さ16cm、幅11cm、フトコロ9cm、

ネジ部：W1/2（タモの柄に一致）、ネジ長20mm

重量128g

材質ステンレス、フック部—高強度鋼（焼き入り）

適用範囲：2kg～40kg（耐強度45kg）

対象魚：青物、シイラ、ヨコワ、中型キハダ

製法：ハンドメイド

製造販売：服部商会

焼きが入っています。線径6.5mm、強いですが（細さの割に、→軽量高強度）。

フトコロ寸法9cmで10kg級魚体を収納する十分なインナースペースを有します。

高い足場で引く事により、掛けるコンセプトです。

高い硬度（HRC硬度50以上—maxで55以上）を有します。これに対して標準ギャフ（殆どの安価ギャフ）はsus304（＝標準ステンレス＝クロムを18%、ニッケルを8%含有する事から18-8ステンともいう）を使用しており、此れのHRC硬度は8～10です。sus304は生でHRC硬度8～10の軟材ですが、素材の特性上、sus304は焼きが入りません（成分の問題→焼き入れ＝急冷したとしても硬くはなりません）。sus304は強度を求められる用途用に作られたものではなくて綺麗さを求められる用途用に作られている物（主目的は防錆力を高める事→台所用品等に適）。ギャフも釣針も構造上片持ちであり、耐強度は硬度に大きく依存しています。釣針は何のために焼きが入れているのか、という事です。硬くする為です。sus304は柔らかいから荷重が掛かったら伸びます（口が開きます）。HRC硬度50～55と8～10とでは耐強度が全く違ってきます。釣針に使われているステンレスと一般用ステンレス（sus304=18-8ステン）とは種類が全く違うものです。多くの釣り人がステンレスの種類が有るという事を知らないのが現状です。ステンレスには多くの鋼種があり、その性状は含有する成分組成によって決まり、其れは規格によって規定されています。釣り人は、ギャフは何ミリ径では弱いから、何ミリぐらいはないといけない、という捉え方をしますが、此れは標準ステンレス（＝sus304）を前提としている事です。

本ギャフは上記硬度故に、軽い重量（128g）を実現しています。sus304ギャフで、ある程度の大物に耐えうるフトコロ寸法と軸径とを有するとなると、200g～230gの重量は避けられないでしょう。柄が短かったらギャフの重量はあまり問題とはなりません。然し、5～6mの柄の

先端に其れを取り付けるとなると、128g（本品）と230gとでは、腕に掛かるトルク（＝負荷）は1.8倍違ってくるのです。此れは自分でシャフトを操作できるか、できないかを左右するでしょう。此れは詰まる所、質の問題であり、質というのは外からは見えないものです。それどころか、大雑把に言って、強度と防錆力とは反比例の関係にあり、見た目的にも、sus304ギャフは綺麗であり、鏡面仕上げに簡単に出来ます。即ち、外見的には、sus304ギャフは高級品にすら見えます。然し、ギャフで最も重要な要素は何ですか？強度です。光沢感などではありません。強度が高ければ、軸を細くする事も出来、軽くすることもできます。軽ければ、長柄の先端に取り付けた時、魚の動きに合わせて、柄を操作して魚に掛ける事も可能になります。

メーター級青物を狙う釣り人は竿やリールに10万も投入している人も多いのに、アクセサリーであるギャフは1000円か2000円で済まそうとする、というのは大きな矛盾です。そしてロッドやリールではなく、そのギャフが実際の取り込みの成否に大きな影響を与える、という事を認識し、取り込み率を高める為には、其処の部分を改善する必要がある、と感じた賢明な釣り人のニーズに本ギャフはミートします。

本ギャフの針先は爪に刺さります。此れは高い硬度が実現しているものです。唯のステンレスをいくら研いでもステンレスナイフになりません。本ギャフはステンレスナイフ用途にも使用される鋼種を使用し、同じ熱処理を実施している故に、同じ切れ味を実現しています。

本ギャフは最も使用頻度が高いと思われる5kg～10kgの青物シイラ等を5～6mの長柄で取り込むことを最大の目的とし、万一30kg級キハダ等が食いついてきたとしても何とか一人で取り込む事を目指しています。

フライングギャフ用アダプターはオリジナルの軽量（30g）アダプターが既に出来上がっていますが、此れの販売開始には今暫くの日にちが必要です。

保守管理に関して：本品はステンレスですが、使用后放置すれば、含有カーボンの影響により、多少の錆がきます。強度に於いてSUS304に勝りますが、防錆力に於いてSUS304に劣ります。釣行後は速やかに水洗いをし、乾いた布で水分を拭き取って、防錆油を吹き付けた後、其れを乾いた別の布で軽めに拭き取り、保管する事をお勧めします。その時点で既に錆がきていた場合にはサンドペーパー等で錆を落とした上で同作業を行ってください。釣行前には針先のチェックを行い、鈍っていたら砥石で研いってください。

製造販売： 服部商会

〒862-0901 熊本県熊本市東区東町 4-16-9-406

TEL： 096-365-0269